



2023年5月11日

各位

会社名 **ネツレン**
高周波熱錬株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 大宮 克己
(コード番号 5976 東証プライム市場)
問合せ先 管理本部経理部長 篠原 秀明
(TEL. 03-3443-5441)

特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績値の差異 並びに通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期におきまして、下記のとおり特別損失を計上するとともに、2023年2月7日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想と本日公表いたしました決算値に差異が生じたことを下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、2023年3月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容

減損損失

当社及び連結子会社において今後の事業計画を保守的に見直した結果、国内外の自動車業界からの受注割合が高い複数の拠点において当初予測から乖離が生じたため、減損損失1,852百万円を特別損失に計上することといたしました。(連結業績への影響：1,852百万円、個別業績への影響：1,353百万円)

2. 通期連結業績予想と決算値との差異について

(1) 2023年3月期連結業績予想と決算値の差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	58,000	2,500	3,300	1,700	45円08銭
決算値 (B)	57,524	2,396	3,088	381	9円89銭
増減額 (B-A)	△475	△103	△211	△1,318	
増減率 (%)	△0.8	△4.1	△6.4	△77.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	53,004	3,704	4,418	2,690	67円45銭

(2) 差異の理由

土木・建築業界、建設機械業界及び工作機械業界からの受注は比較的堅調に推移しているものの、下期後半になって回復すると想定していた自動車業界からの受注は、本格的な回復には至りませんでした。

このような経営環境により、売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想を若干下回る結果となりました。また、上記1でお知らせした減損損失を特別損失に計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は大きく前回発表予想を下回る結果となりました。

3. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2023年3月期個別業績と前期実績値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2022年3月期)実績(A)	32,504	2,169	3,426	2,606	65円34銭
当期(2023年3月期)実績(B)	33,690	851	2,073	630	16円35銭
増減額(B-A)	1,186	△1,317	△1,352	△1,975	
増減率(%)	3.6	△60.7	△39.5	△75.8	

(2) 差異の理由

当期は、半導体等の部品不足による生産の停滞が想定以上に長期化するとともに、鋼材などの材料費、電力費や物流費の高騰によるコストアップが継続しました。このような状況において、販売価格の改定などの努力により売上高は前期を上回る実績となりました。

一方、利益面は自動車関連業界からの受注が低調に推移したことや建設機械用の一部材料の供給不安定により当社の生産性が低下したこと、さらに、材料費や電力費の高騰による製造コストの上昇や上記1でお知らせした減損損失を特別損失に計上したことなどで、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前期実績を下回る結果となりました。

以上